

大会規定

東京都少年サッカー連盟第 14 ブロック
2014 年度版

2015/01/17

目次

大会共通規定	3
1. 参加資格	3
2. 競技規則	3
3. 表彰	4
4. 組み合わせ	4
5. その他	5
大会別規定	6
<<全日本少年サッカー大会 14 Bブロック予選>>	6
1. 参加資格	6
2. 競技規則	6
<<さわやか杯 14ブロック予選>>	7
1. 参加資格	7
2. 競技規則	7
<<東京都 J A 東京カップ 14ブロック予選>>	8
1. 参加資格	8
2. 競技規則	8
<<東京都少年フェアプレーカップ大会 14ブロック予選>>	9
1. 参加資格	9
2. 競技規則	9
<<新人戦 14ブロック大会>>	10
1. 参加資格	10
2. 競技規則	10
<<14 ブロック 4年生交流戦大会>>	11
1. 参加資格	11
2. 競技規則	11
<<14 ブロック 3年生交流戦大会>>	12
1. 参加資格	12
2. 競技規則	12
<<14 ブロック 2年生交流戦大会>>	13
1. 参加資格	13
2. 競技規則	13
8人制競技規則	14
1. 人数について	14
2. 交代の手続き	14
3. 不正入場に関して	14
4. 補助審判について	14

5. PK戦について	14
6. その他.....	14
ユニフォーム規定.....	16
＜ユニフォーム＞	16
＜ユニフォームの色彩＞	16
＜ユニフォームへの表示＞	16
変更履歴.....	18

大会共通規定

1. 参加資格

- ① 当年度、(財)日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)に登録したチームで、活動拠点が14ブロック内(小平市・東村山市・東大和市)であること。
- ② 14ブロック役員会で承認されたチームであること。
- ③ チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- ④ 選手は(財)日本サッカー協会に個人登録を済ませてあるものに限る。

注：3年生以下においては、確実に4年生以上の大会に出場しない選手に限り、(財)日本サッカー協会に個人登録を行う必要はない。

- ⑤ 年間を通してスポーツ傷害保険に加入していること。

2. 競技規則

- ① 試合は、当年度「日本サッカー協会競技規則」に準ずる。
- ② 試合がトーナメント戦の場合、両チームが同点・無得点の場合には、5人ずつのPK方式とする。
注：東京都大会へ推薦する大会の場合、3位決定戦は前後半各5分の延長戦を行った上、同点の場合はPK戦にて決定する。
- ③ リーグ戦の順位 1.勝ち点(勝ち…3・引き分け…1・負け…0) 2.得失点差 3.総得点 4.当該チームの直接対決 5.抽選

参考試合が発生した場合のリーグ戦の成績は、当該チームを除いたチームにて順位を決める。(当該チームの試合はすべて無効とする)。

- ④ ベンチに入る選手数は制限無しとする。自由な選手交代とする。

注：試合にベンチ入りしない対象学年の選手は、ベンチ側後方又は少し離れた所定の場所での待機を認める。

- ⑤ ベンチに入る監督及びチーム役員は2名以上、3名までとする。

- ⑥ 14ブロック制定の選手登録表を使用し、試合毎に開始30分前迄に本部に提出すること。

注：選手登録表は当該の試合毎に提出可能とする。試合開始30分前までに本部へ申し出ること。

- ⑦ 2学年下の選手を出場させる場合は、健康管理・安全管理に関し、代表者・監督が十分に考慮する。
- ⑧ 大会中に退場処分を受けたものは、次の試合に出場できない。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする)但し、次の大会には処分を持ち越さない。

- ⑨ 大会の試合中に退席処分を受けたチームの監督及びチーム役員は、次の試合にベンチに入ることとはできない。

- ⑩ ユニフォームは、チーム名と選手固有の番号が入らなければならない。

- ⑪ ユニフォームは色の異なる正・副2着を用意する。

但し、3年生大会に於いては、副がない場合には、ビブス着用可とする。GKのビブス着用は認めない。また、2年生大会に於いては、副がない場合には、GK含むビブス着用を認める。

- ⑫ 給水タイムを用いる場合、ロスタイムにカウントする。(作戦タイムではない。約1分を目安とする。)

- ⑬ 8人制大会のコートサイズは、6年生大会と5年生大会(68×50)、4年生以下の大会(60×40)

が望ましいが、固定式のゴールやグラウンドの面積が足りない場合には、その限りではない。

⑭ 試合球は、4号球ボールとする。スパイクは固定式に限る。ゴールは、少年用とする。

⑮ 試合を担当するチーム帯同審判員は、審判証を携帯し、試合開始前に本部に提示すること。

また、正しく審判服(上下とも正規の審判服であること)を着用し、装飾品(指輪、ネックレス等)は外すこと。

⑯ 全日本少年サッカー大会、新人戦 14 ブロック大会、14 ブロック 4 年生大会、14 ブロック 3 年生大会、14 ブロック 2 年生大会では、同一チームで 2 チームの参加を認める。

但し 8 人制の場合該当学年：17 名以上で、1 チーム 6 名以上の登録、5 人制の場合該当学年で 11 名以上、1 チーム 4 名以上の登録を条件とする。

注（補足）

- ・ 2 チーム参加の場合、代表者会議開始前までに 14B メンバ表を運営部へ提出する。
- ・ 抽選では、同一母体チームの一次リーグ戦は、チーム同士の対戦をしない組合せを考慮するが、二次リーグ戦以降は考慮を行わない。
- ・ 平成 26 年度の対象学年の最初の大会でのシードチームで 2 チーム参加の場合 1 チームはシードチームの扱いを行うが、他の 1 チームは通常の抽選を行う。対象学年の次大会のシードチームは前回の大会の結果で決定する
- ・ 2 チーム参加チームが会場提供の場合で 3 チームリーグ×2 以上の試合ができる場合、会場チームとの調整で同一会場の調整を行う場合がある。
- ・ 2 チームが同一リーグになった場合、同一母体チーム試合の審判割当にならないように出来るだけ、組合せを調整する。
- ・ チーム名は 母体チーム名+アルファベット 1 文字とする。
- ・ 2 チームが東京都の推薦順位になった場合、次順位である、他のチーム順位を繰り上げて、東京都へ推薦する。注：・ 同一母体チーム 2 チームの推薦は行わない。
- ・ 次順位が複数ある場合、対象チームで決定戦を行う。

3. 表彰

1 位～4 位チーム…トロフィー・賞状

4. 組み合わせ

① 14 ブロック代表者会議にて抽選を行う。

② 前大会の上位 8 チームをシードとする。

前大会のブロック大会ベスト 4 チームを第 1～4 シードとし、第 1 シードから順に一次リーグの 1 組～12 組の抽選を行う。抽選では 第 1 シード～第 4 シードは 二次リーグで対戦しない一次リーグの組に割り当てる。

残りの 4 チームを第 5 シードとし、抽選により一次リーグの各組みに分散して組み入れる。注：一次リーグで他のシードと対戦しない。

(前大会が都合により、中止や打ち切りで上位 8 チームが決まらなかった場合には、該当する大会まで遡りその大会結果を採用する。)

但し、前大会でベスト 8 進出が決まっているチームがある場合には、そのチームを次大会シード

チームとする)。

全大会とも、全参加チームで抽選を行う。

③ 代表者会議には、チームの代表者 またはその代わりの者が必ず出席すること。

④ 会議には決定権のある代表者または、代表権のある者が出席する

5. その他

大会規定、競技規則（少年連盟大会要項・ハンドブック参照）に違反する選手ならびにチーム、また審判や、本部、及び会場等へ懲戒罰行為をした選手、監督、コーチ代表者、父母等関係する参観者は、その内容によって処分される。

大会別規定

<<全日本少年サッカー大会 14Bブロック予選>>

1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は1. 一次リーグ（36チーム例）→ 二次リーグ（12チーム）→ 決勝トーナメント（4チーム）

一次リーグは全参加チームで行い、3チームまたは4チームリーグにて実施する。二次リーグは3チームリーグにて実施する。

（組み合わせ上3チームによるリーグ戦を用いる場合には、そのブロックは上位1チームが次節リーグ戦へ進出する）

14B新人戦の上位8チームは組合せシードとする。

該当の8チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

一次リーグは、全参加チームにて行う。二次リーグには12チームが進出する。

二次リーグは3チームリーグで行い 上位1チームが決勝トーナメントに進出する。（4チーム）シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

- ② 試合時間は、1日2試合以下の場合は40分（前後半20分・インターバル5分）。、3試合以上の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。

- ③ 8人制による競技とする。（4審制）（各チームから2名、合計4名で構成。）但し 審判部及び本部で行う場合もある。

別紙 試合の時程表で審判の割当を行う。

- ④ 決勝トーナメント進出の1～3位を全日本少年サッカー大会東京都大会に推薦する。

- ⑤ 当大会のベスト8は、さわやか杯のシードとなる。

＜くさわやか杯 14ブロック予選＞

1. 参加資格

6年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

- ① 大会方式は1. 一次リーグ（36チーム例）→ 二次リーグ（12チーム）→ 決勝トーナメント（4チーム）

一次リーグは全参加チームで行い3チームまたは4チームリーグにて実施する。二次リーグは3チームリーグにて実施する。注 参加チーム数で三次リーグ戦を行う場合がある。

（組み合わせ上3チームによるリーグ戦を用いる場合には、そのブロックは上位1チームが次節リーグ戦へ進出する）

決勝トーナメントは、4チームにて順位を決する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

- ② 試合時間は、1日2試合以下の場合40分（前後半20分・インターバル5分）、3試合以上の場合は30分（前後半15分・インターバル5分）とする。
- ③ 8人制による競技とする。（4審制）（各チームから2名、合計4名で構成。）但し 審判部及び本部で行う場合もある。
- 別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。
- ④ 決勝トーナメントの1～3位をさわやか杯 東京都大会に推薦する。

＜＜東京都ＪＡ東京カップ １４ブロック予選＞＞

１．参加資格

５年生以下で編成されたチームであること。

２．競技規則

①平成 26 年度は ５チームのリーグ戦を行う。但しチーム数により 6 チーム編成の場合あり。

②ＪＡリーグ戦の結果で、代表決定戦の組合せを決定する。詳細は別途、ＪＡ東京カップの組合せ表で決定する。

③大会方式は１．ＪＡリーグ戦（５チームリーグ）、代表決定戦：一次リーグ（３０チーム例）→二次リーグ（１０チーム）→三次リーグ（１２チーム）→決勝トーナメント戦（４チーム）

代表決定戦：

１：一次リーグ戦はＪＡリーグ戦の結果で行う。原則、３チームリーグにて実施する。

２：二次リーグ戦は３チームリーグ（４チームリーグ）にて実施する。

３：三次リーグ戦は３チームリーグにて実施する。

４：決勝トーナメントは、４チームにて順位を決する。

１４Ｂのフィアプレーカップの上位 ８チームはリーグ戦の組合せシードとする。

該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

ＪＡリーグ戦の結果、各リーグの１位は 代表決定戦の三次リーグから試合に出場する。

（シード扱い）

代表決定戦の三次リーグは ３チームリーグで行い 上位 １チームが決勝トーナメントに進出する。

（４チーム）

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

⑤ 試合時間は、１日 ２試合以内の場合は 40 分（前後半 20 分・インターバル 5 分）、１日 ３試合以上の場合は 30 分（前後半 15 分・インターバル 5 分）とする。

⑥ ８人制による競技とする。（１審制＋補助審判 １名）（各チームから １名、合計 ２名で構成。）但し審判部及び本部で行う場合もある。

別紙 試合の時程表で審判の割当を行う。

⑦ 代表決定戦の、決勝トーナメントの １～３位を東京都中央大会に推薦する。

⑧ 大会のベスト 8 は、新人戦のシードとなる。

＜＜東京都少年フェアプレーカップ大会 １４ブロック予選＞＞

１．参加資格

４年生以下で編成されたチームであること。

２．競技規則

- ① 大会方式は１．一次リーグ（３６チーム例）→二次リーグ（１２チーム）→決勝リーグ戦（４チーム）

一次リーグは全参加チームで行い、３チームリーグにて実施する。二次リーグも３チームリーグにて実施する。注 参加チーム数で三次リーグ戦を行う。

（組み合わせ上３チームによるリーグ戦を用いる場合には、そのブロックは上位１チームが次節リーグ戦へ進出する）

決勝リーグは、４チームリーグにて順位を決する。

１４Ｂの交流大会３年の上位 ８チームは組合せシードとする。

該当の８チームが無い場合、対象チームのみシードとする。

一次リーグは、全参加チームにて行う。二次リーグには１２チームが進出する。

二次リーグは ３チームリーグで行い 上位１チームが決勝トーナメント戦へ進出する。（４チーム）シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

- ② 試合時間は、１日２試合以内は４０分（前後半２０分・インターバル５分）１日３試合以上の場合 は３０分（前後半１５分・インターバル５分）とする。

- ③ ８人制による競技とする。（１ 審制＋補助審判１名）（各チームから１名、合計２名で構成。）但し 審判部及び本部で行う場合もある。

別紙 試合の時程表で審判の割当を行う。

- ④ 決勝トーナメントの１～３位をフェアプレーカップ中央大会に推薦する。

- ⑥ 大会のベスト８は、４年生交流戦のシードとなる。

＜＜新人戦 1 4 ブロック大会＞＞

1. 参加資格

5 年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

① 大会方式は 1. 一次リーグ → 二次リーグ → 決勝リーグ戦とする。

一次リーグは J A 東京カップ 上位 2 チームを除く全参加チームを 1 2 組に分けたリーグ戦とし各組 1 位が二次リーグへ進出する。

二次リーグは 3 チームリーグにて実施し各組 1 位が決勝リーグへ進出する。

決勝リーグは、二次リーグを勝ち抜いた 4 チームと J A 東京カップ 上位 2 チームの計 6 チームでのリーグ戦、および、順位決定戦にて順位を決定する。

※大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

② 一次・二次リーグの試合時間は、1 日 2 試合以内の場合は 4 0 分（前後半 2 0 分・インターバル 5 分）、1 日 3 試合以上の場合は 3 0 分（前後半 1 5 分・インターバル 5 分）とする。

決勝はリーグ戦 4 0 分、順位決定戦は 3 0 分とする。

③ 8 人制による競技とする。（4 審制）（各チームから 2 名、合計 4 名で構成。）但し、審判部及び本部で行う場合もある。

別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。

④ 当大会の成績は次年度の 1 4 ブロック 6 年生リーグ（仮称）の組合せに反映する。

<<14 ブロック 4年生交流戦大会>>

1. 参加資格

4年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

①一次リーグは、全参加チームにて行う。二次リーグには12チームが進出する。

二次リーグは、3チームリーグで行い、上位1チームが決勝トーナメントに進出する。(4チーム)シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

② 試合時間は、1日2試合以内の場合は40分(前後半20分・インターバル5分)、1日3試合以上の場合は30分(前後半15分・インターバル5分)とする。

③ 8人制による競技とする。(4 審制)(各チームから2名、合計4名で構成。)但し、審判部及び本部で行う場合もある。

別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。

④当大会のベスト8は、次年度のJ A東京カップ大会のシードとなる。

<<14 ブロック 3年生交流戦大会>>

1. 参加資格

3年生以下で編成されたチームであること。

2. 競技規則

① 一次リーグは、全参加チームにて行う。 二次リーグには12チームが進出する。

二次リーグは 3チームリーグで行い 上位1チームが決勝リーグに進出する。(4チーム)
シードの組合せは、大会参加チーム数で決定する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

② 試合時間は、1日2試合以内の場合は30分(前後半15分・インターバル5分)、1日3試合以上の場合は24分(前後半12分・インターバル5分)とする。

③ 8人制による競技とする。(1 審制+補助審判1名)(各チームから1名、合計2名で構成。)但し、
審判部及び本部で行う場合もある。

別紙 試合の時刻表で審判の割当を行う。

④ 大会のベスト8は、次年度のフェアプレーカップ大会のシードとなる。

⑤ 大会においては、選手の(財)日本サッカー協会に個人登録を行なう必要はない。

大会では選手証の確認は行なわない。

＜＜１４ ブロック ２年生交流戦大会＞＞

１．参加資格

２年生以下で編成されたチームであること。

２．競技規則

①一次リーグは、全参加チームにて行う。二次リーグには一次リーグの結果で対象順位のリーグ戦を行う。

二次リーグは、３チームリーグで行う。＜当大会は二次リーグで終了とする＞

組合せは、大会参加チーム数で決定する。

大会運営上の都合により、リーグ戦を用いない場合もある。

② 試合時間は、２０分（前後半１０分・インターバル３分）とする。

３チーム、４チームリーグ：１０分ハーフとする。但し、４チームの場合、時間の短縮あり。

③ ５人制による競技とする。（１ 審制）（各チームから１名）別紙、試合の時程表で審判の割当を行う。

④ ゴールはフットサルゴールを使用する。 但し フットサルゴールがない場合 少年用でも可とる。

⑤ 大会の２次リーグ１位は、次年度の３年生交流大会のシードとなる。

⑥ 大会においては、選手の（財）日本サッカー協会に個人登録を行なう必要はない。 大会では選手証の確認は行なわない。

8 人制競技規則

1. 人数について

- ① 試合成立の最少人数は、8 名とする（試合開始時）
※試合開始時に選手が 8 人揃わない場合には、参考試合とする。
- ② 選手が退場（レッドカード・イエローカード累積）の場合には、そのハーフは 7 人で試合を行う。
退場になったハーフが前半だった場合、後半は選手の補充をすること。
※ 選手の補充が出来ない場合には、その試合を参考試合とする。
※ 全日本予選に関しては、その試合終了時まで補充はできない。
- ③ 試合途中に 5 名未満となった場合には、その試合を参考試合とする。

2. 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーン（両ベンチ間のハーフウェーラインから左右 3 M）からフィールド外に出る。
- ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、行う事ができる。
※①～③までの交代については、主審、補助審判の承認を受ける必要はない。
- ④ ゴールキーパーについてはアウトオブプレー時に主審に通告して行うことができる。交代ゾーンからの入れ替えとする。
- ⑦ 怪我の場合には、主審のコントロールにより、交代ゾーン以外（どこからでもフィールドを離れてもよい）から退出できる。

注：ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

3. 不正入場に関して

選手の入れ替えの際、交代要員が先にフィールド内に進入した場合、選手が戦略的に意図をもって進入したと主審が判断した場合のみ、不正入場した選手はイエローカードを示される。

不正入場を防止するために、チームにて選手に指導をすること。

交代は、該当選手同士で行うことが望ましいが、ベンチより監督、またはコーチが声で合図をしても良い。

4. 補助審判について

- ① 補助審判は、交代の手続が円滑に行われるように主審を援助する。
（競技者が交代ゾーンから出てから、交代要員が入ることを監視し指導する。）
- ② フィールド内の選手に交代することを伝える必要はない。

5. PK戦について

トーナメント戦でその試合の勝敗をつける場合には、両チーム 5 人ずつの PK 戦を行う。5 人ずつのキックを行い、同点の場合には、サドンデスとする。

6. その他

- ① キックオフシュートが直接相手ゴールに入った場合、相手チームのゴールキックで再開する。
- ② 上記以外の規則に関しては、日本サッカー協会競技規則に準ずる。

ユニフォーム規定

＜ユニフォーム＞

本規定においてユニフォームとは、シャツ、ショーツ、およびストッキングの3点を総称したものを言う。

14 ブロックに所属するチームは、上衣（シャツ）、下衣（パンツ）、ストッキングの全てを正・副2着用を用意する。（キーパーも同様とする）

※3年生に限り、FP については副が無い場合はビブスの着用を認めるが、GK についてはビブスの着用を認めない。

＜ユニフォームの色彩＞

① チームのユニフォームシャツ（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩は、審判員が通常使用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

※フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともにユニフォーム（シャツ）の主たる色彩が黒色は不可とする。

② フィールドプレイヤーのユニフォーム前面と背面の色彩は同じであるものとする。

③ 主審が、対戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときには、主審は、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

※14ブロック大会の初日・2日目においては、試合前に対戦するチームの代表者同士が話し合い、本部に確認した後、判別しやすい組み合わせで準備をすること。

＜ユニフォームへの表示＞

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。

① チーム名

（1） チームエンブレム シャツの左胸 100cm²を越えないサイズ

（2） チーム名をエンブレム以外で表示する場合はシャツ前面または左胸 300cm²

（3） チームエンブレムはショーツ・ストッキングに表示することができる。

ショーツ 左右どちらか一ヶ所 50cm²を越えないサイズ

ストッキング 左右一ヶ所ずつ 50cm²/一ヶ所

② 選手番号

（1） 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縦柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

（2） 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。

背番号サイズ 20cm×20cm～35cm×35cm

※身長150cm以下の選手等が着用する小さいユニフォームの場合は、サイズを適宜縮小することができる。

胸番号サイズ 8 c m × 8 c m ~ 15 c m × 15 c m (右、左又は中央)

※選手番号は、固有の番号とすること。フィールドとキーパーを兼任する選手は、同番号のフィールドユニフォームとキーパーユニフォームを用意すること。3 年生大会でも、同様とする。

(3) 番号は整数の 1 から 99 を使用し、0 は認めない。登録選手が 100 名以上の場合に限り、100 以上の番号を認める。

(平成 25 年度全日本少年サッカー大会 14 ブロック予選より施行)

チームで用意するユニフォーム例

(フィールドプレーヤー [以下 F P]、ゴールキーパー [以下 G K])

F P、G Kとも、ユニフォームシャツの主たる色が黒色を使用することを禁止とします。

F P、G Kとも、それぞれ正副、異なる色のユニフォームを用意する。

F P、G Kとも、背番号と胸番号の入ったユニフォームを着用する。

<正しい例>

F P 正：赤 (上)、白 (下)、赤 (ストッキング) 副：青 (上)、青 (下)、青 (ストッキング)

G K 正：黄 (上)、黄 (下)、黄 (ストッキング) 副：緑 (上)、緑 (下)、緑 (ストッキング)

<失格となる例①>

F P 正：赤 (上)、白 (下)、赤 (ストッキング) 副：青 (上)、白 (下)、青 (ストッキング)

G K 正：黄 (上)、黄 (下)、黄 (ストッキング) 副：緑 (上)、緑 (下)、黄 (ストッキング)

<失格となる例②>

F P 正：青 (上)、白 (下)、黄 (ストッキング) 副：赤 (上)、赤 (下)、白 (ストッキング)

G K 正：紫 (上)、赤 (下)、赤 (ストッキング) 副：緑 (上)、緑 (下)、黄 (ストッキング)

変更履歴

更新日	変更内容
2014/4/10	新規作成
2014/4/18	2. 競技規則⑮ 審判員のメガネ着用に関しての規定を削除
：	2. 競技規則⑯ 2 チームエントリー可能な大会を限定
2014/5/10	東京都 J A 東京カップ 1 4 ブロック予選の規定改定 ＜JA リーグ戦・代表決定戦の組合せ方法等＞
2015/1/15	新人戦 1 4 ブロック大会の規定改定